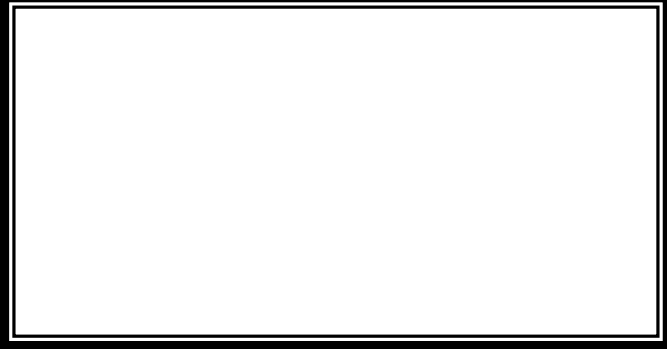


宛先



ニューズレター

低平地研究会 (LORA), 国際低平地研究協会 (IALT)

No. 81

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/lora/index.html>

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/ialt/index.html>

平成27(2015)年 6月23日

平成27年度 運営委員会の開催

4月16日(木)の午前10時30分から佐賀大学工学部6号館2階多目的セミナー室において、低平地研究会平成27年度運営委員会が開催されました。平成26年度の活動報告、予算に関する説明、平成27年度の活動計画と予算案が議論され、承認されました。また、平成26年度に企画検討部会が中心となって作成された部会改変案も承認され、平成27年度からは新しい体制のもと、研究会活動が行われることになりました。



新部会編成のご紹介

平成26年度までの各専門部会は「企画検討部会」をはじめ「地盤」、「水」、「経済」、「歴史」、「くらしと文化」および「地域デザイン」の7つでした。平成27年度より、それらの各部会は「基盤整備」、「都市空間」、「環境」、「地域創生」および「歴史・文化」のように再編され、昨今の社会経済情勢の変化や管理型土木技術の需要増大などに沿った活動が行えるようになりました。会員の皆様のご参加をお待ちしています。

<p>環境 専門部会 部会長：佐賀大学 准教授 ナルモン・V. 副部会長：佐賀大学 講師 三島悠一郎</p> <p>「佐賀や世界の低平地における環境問題や水管理に関する研究」</p>	<p>地域創生 専門部会 部会長：久留米大学 教授 大矢野栄次 副部会長：佐賀市経済部 部長 池田剛</p> <p>「佐賀空港周辺部の経済・社会の在り方に関する研究」</p>
<p>基盤整備 専門部会 部会長：佐賀大学 准教授 末次大輔 副部会長：佐賀大学 教授 山西博幸 副部会長：佐賀大学 教授 伊藤幸広</p> <p>「低平地の社会基盤整備に関する研究」</p>	
<p>歴史・文化 専門部会 部会長：久留米大学 准教授 吉田洋一 副部会長：佐賀大学 准教授 伊藤昭弘</p> <p>「有明海沿岸地域の歴史・文化に関する現地調査や関連資料の探求・公開」</p>	<p>都市空間 専門部会 部会長：佐賀大学 教授 三島伸雄 副部会長：佐賀大学 准教授 後藤隆太郎</p> <p>「地域に根ざす都市空間に関する研究」</p>

平成26年度 活動報告会 1

専門部会の活動報告

4月16日午後1時から、平成26年度の低平地研究会活動報告会が開催されました。



新部会長の紹介

緒方会長の開会挨拶ののち、各専門部会の部会長から平成26年度に実施された講演会、勉強会、現場見学会などの活動内容が報告されました。また、荒木運営委員長・旧企画検討部会長から新しい部会編成について説明があり、新部会長の紹介と本年度の活動予定について説明されました。

平成26年度 活動報告会 2

特別講演会の開催

活動報告会ののちに、休憩を挟んで特別講演会が実施されました。講師として下山正一博士(元九州大学大学院助教、佐賀大学低平地沿岸海域研究センター特命研究員)をお招きして、「地層から探る佐賀平野のなりたち」と題してご講演いただきました。



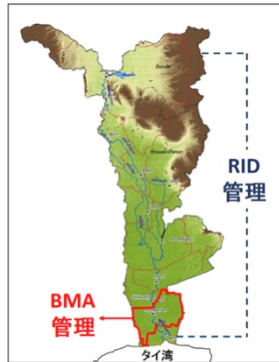
下山 正一博士

佐賀平野は長い時間をかけて形成された地形であり、地層中には多くの情報が保存されています。下山博士は、地表の路頭やボーリングコア、遺跡などからその情報を調査し、平野の生成過程や海岸線の変遷などから佐賀平野の歴史を明らかにされており、永年に渡る貴重な研究成果が紹介されました。

低平地に関する豆知識 -その18-

タイの低平地：バンコクの水管理

低平地であるバンコクは、国内最大河川のチャオプラヤ川の河口部に位置しています。タイの人口は6,952万人。その約6分の1の人口がタイ経済の中心地バンコクに集中しています。バンコクでは、大雨時には上流からの影響、さらには潮位による下流からの影響を受け、バンコク市内からチャオプラヤ川への排水が困難になり、浸水被害を受けます。一方、乾期には上流における灌漑用水利用の影響によって流量が少なくなり、水不足、水質汚染、さらには海水遡上問題が発生しやすくなります。近年の降雨が短期間に集中し乾期が長くなる傾向によって、バンコクを含むチャオプラヤ川の下流部では乾期の渇水と雨期の洪水がほぼ毎年繰り返されています。2013年と14年の乾期には、河口から97km上流にあるバンコク水道局の取水口周辺で基準値を超える塩分が観測されました。上記の問題を解決するには総合水資源管理が必要ですが、現状ではバンコク以外のチャオプラヤ川流域の水資源管理は灌漑用水中心に Royal Irrigation Department (RID) が担当し、バンコク区間のみは Bangkok Metropolitan Administration (BMA) が管理するという、日本では見られない縦割り行政が存在しています。2011年の洪水をきっかけに全国の総合水資源管理システムを開発することが決定され、バンコクにおける水問題の改善が期待されます。Nrumol, V. (環境専門部会長/佐賀大学工学系研究科都市工学専攻准教授)



センター教員の離任

平成27年3月31日付けで低平地沿岸海域研究センターの長濱祐美講師(研究機関研究員)が離任され、4月1日から茨城県の霞ヶ浦環境化学センターの研究員として着任されました。長濱博士には低平地研究会20周年記念事業、水専門部会の活動などを裏方として支えていただきました。



今後のご活躍とご発展をお祈りいたします。



会員 特別会員

動向 株式会社 建設技術研究所

弊社は、70年の歴史を有する日本で“最初の建設コンサルタント”です。「世界に誇れる技術と英知で、安全で潤いのある豊かな社会づくりに挑戦する」を経営理念として、社会資本整備の多様な分野で幅広く社会に貢献し続けています。佐賀県には平成16年に事務所を開業し、今年で12年目を迎えました。九州支社では最近、CSR活動として水に関する教育活動も実施しています。これからも様々な場面で地域の社会づくりに貢献してまいります。福岡市内の小学校での理科実験親子イベントに出展



LTI ジャーナル Vol.17、No.1の発行

英文機関紙「Lowland Technology International」Vol.17、No.1が発行されます。4編の論文と3編のテクニカルノートが掲載され、会員限定でウェブサイトから閲覧することができます。

論文

Title	Authors
The effect of water boundary conditions of advance face and lining on the evolution of internal forces in lining	J. Song, L. Miao and S. Feng
Analytical solutions for soil flushing through geotextiles considering filter cake and clogging	H.Y. Wang, X.W. Tang, Q. Tang and B. Bai
Effects of cyclic shear stress and average shear stress on the cyclic loading failure of marine silty sand	J.M. Kim, T.G. Ryu and G.M. Soriano
The relationship between tourist's path selection and space image: A case study of peripheral lines surrounding the West Lake	X.M. Zhao, J.R. Shi, Y.Y. Duan, Y.X. Lei and K. Hokao

テクニカルノート

Title	Authors
The evaluation system of ecological and low-carbon village in China - A case study in Zhejiang Province	X.Y. Luo, J. Ge and M.Y. Lu
Awareness status of sightseeing bus entrepreneurs: A case study in rural areas of Thailand	S. Jomnonkwao, S. Siridhara and V. Ratanavaraha
Urban Renewal evaluation for traditional neighborhoods based on sustainable community development rating system: A case study in Zhejiang, China	K. Wang and Z.Y. Cao

編集後記

新しい体制による研究会活動がいよいよ始まります。会員の皆様にその様子をお伝えできるよう、情報収集を行い、紙面の編集を進めてまいります。

編集：三島 (佐大:sk9822@cc.saga-u.ac.jp) 江頭、日野